

**実験1**

炭酸水素ナトリウム



質量 89.00g

塩酸に炭酸水素ナトリウムを加える。



質量 88.10g

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_での反応は、発生した気体が空气中に逃げるので化学変化後の全体の質量は\_\_\_\_\_。

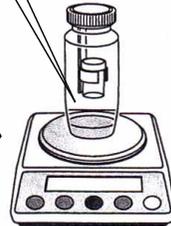
エ \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_

**実験2**



質量 1.0g

発生した二酸化炭素は容器に残るので\_\_\_\_\_。



質量 1.0g

空气中に気体が逃げているので\_\_\_\_\_。



質量 0.85g

ク 気体が発生する化学変化も、\_\_\_\_\_では、反応前後での全体の質量は変化しない。これを\_\_\_\_\_という。反応後に容器のふたをゆるめると気体が空气中に逃げるので、全体の質量は減少する。

**実験3**

炭酸ナトリウム水溶液



質量 5.0g

塩化カルシウム水溶液



質量 5.0g

\_\_\_\_\_は、物質がどこにも逃げないので反応前後で全体の質量は\_\_\_\_\_。

サ \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_

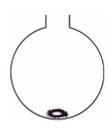
**実験4**

酸素  
鉄粉

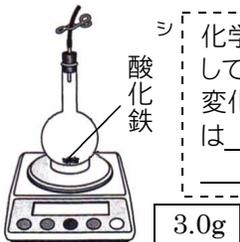


3.0g

加熱して鉄を燃焼させる。



酸化鉄



3.0g

シ 化学変化でどんな物質が生成しても、\_\_\_\_\_で化学変化を起こせば、全体の質量は\_\_\_\_\_。常に\_\_\_\_\_。